

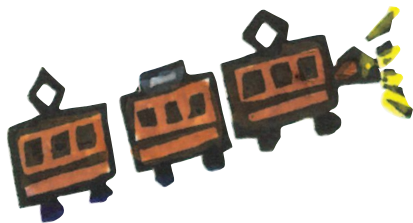
まちの未来計画

岡垣町 第6次
総合計画

OKAGAKI TOWN MASTER PLAN 2021-2030

しあわせ
実感都市
岡垣

自然と
共生する



岡垣町は、海や山などの美しい自然環境に恵まれており、その自然からもたらされる地下水85%のおいしい水道水が町の魅力の一つです。自然豊かな一方で、町内にはJR鹿児島本線、国道3号、国道495号と交通の主要幹線が通り、福岡市や北九州市などの都市圏への交通アクセスが良い町です。このような自然の豊かさと暮らしやすさから、1960年代頃から宅地開発が進み、人口は順調に増加してきましたが、2010年を境に緩やかな減少傾向に転じています。



全国の多くの自治体では、人口減少・少子高齢化が本格化し、医療・年金・介護などの社会保障制度に大きな影響が出てくることが懸念されています。岡垣町においても人口減少・少子高齢化は待ったなしの課題です。そのような中でも、持続できる社会を形成し、引き続き住民の皆様から住みやすいと評価されるまちづくりを進めていくことが重要です。

岡垣町では、新たな10年に向け、「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」を将来像に掲げ、まちの未来計画（岡垣町第6次総合計画）を策定いたしました。

本計画では、豊かな自然によりもたらされるおいしい水、食の恵み、住民のふれあいなどの「岡垣らしい しあわせ」を守り育てることで、住民一人ひとりがしあわせや住み良さを実感できる町を目指し、「自然を守り、活かし交流を生むまち」「地域資源を活かし発展するまち」「人・つながりが育つまち」「誰もが元気で自分らしく暮らせるまち」「安全・快適に暮らせる持続可能なまち」の5つの基本目標をもとにまちづくりを推進します。

私は、これらのまちづくりを推進するためには、行政だけではなく、住民・団体・企業などのさまざまな主体が、それぞれの個性を発揮し、協働することが必要であると考えます。今後も住民の皆様のご支援とまちづくりへの積極的な参画をお願いいたします。

令和3年3月 岡垣町長 門司晋

2-1

農業・漁業を守り、育てる



現状・課題

- 農業・漁業は、国民生活に必要な不可欠な食料を供給するとともに、農地による洪水防止機能や漁村での海難救助の取組などの多面的な機能を有しているため、重要な産業として位置付けています。
- 本町の農業は、水稲などの土地利用型の農業が大半を占めており、多くのため池や用排水路を整備していますが、それらの施設は老朽化が進んでいます。
- 土地利用型の農業では、大規模化が進んでおり、今後も、農地集積や先進技術を導入した農業などにより、経営基盤を改善していく必要があります。
- 一方、生産条件が整っていない中山間地域では担い手の確保に苦慮しており、荒廃農地化が懸念されています。また、有害鳥獣被害も増加しています。
- 近年、ハウス栽培によるイチゴなどの高収益作物を生産する新規就農者が増加しており、農地の有効活用を図るためにも、今後も新規就農支援を推進していく必要があります。
- 本町の漁業は、年々漁獲量が減少しており、経営が困難な状況が続いています。また、後継者不足などで漁業従事者も減少しているため、漁業施設の有効活用が図れていないことが課題となっています。
- 地産地消は、生産者にとっては、一般流通が難しい規格外野菜などを販売できることから、収益の向上につながります。また、消費者にとっても、安全・安心な野菜を安価で購入でき、地域の食文化を知ることができるなどのメリットがあるため、引き続き推進していく必要があります。



施策

施策1 農業・漁業の生産基盤を守ります

- 農業生産の基盤となる用排水路、農道、ため池などの補修や維持管理を進めます。
- 漁業施設の生産基盤を維持管理するとともに、有効活用を図ります。

施策2 農業経営・漁業経営を支援し、担い手を育成します

- 農業生産の向上につながる先進技術や省力機械の導入、大規模化に対する支援など、農業経営の改善を支援します。
- 中山間地域の農地を守るため、直接支払制度などを活用し、営農の継続を支援します。
- 有害鳥獣対策として、駆除や電気柵を設置するための支援などにより、被害の軽減を図ります。
- 町内における農地の有効活用や農業経営の安定化を図るため、新規就農者の育成に取り組みます。
- 漁場の藻場回復や漁業従事者の育成など、漁獲量の増加に向けた取組を進めます。
- 漁業の生産基盤である漁場の保全や根付漁業などの振興を図ります。

施策3 地産地消に取り組みます

- 町内販売施設において、地元農水産物の販売の拡大を支援します。
- 地元食材を取り入れた学校給食を提供します。

まちづくりの成果指標

農業産出額	現状値[2020(令和2)年]	目標値[2030(令和12)年]
	1,360 百万円	1,400 百万円
漁獲量(陸揚高)	現状値[2018(平成30)年]	目標値[2030(令和12)年]
	53 百万円	現状を維持する

総合計画			実施計画			
基本目標	政策	施策	成果指標等		担当課	
			現状値	目標値		
2 地域資源を活かし発展するまち						
	2-1 農水産業を守り、育てる	施策3 地産地消を推進します	学校給食における地元産食材の使用率	31.4%	35%	産業振興課